

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成１９年度）

平成２０年 １０月

名古屋市市民経済局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2. 調査の集計結果	6
2-1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	8
2-2 宿泊客の現状	26
(1) 調査の概要	26
(2) 調査結果	27
2-3 宿泊施設調査	42
(1) 調査の概要	42
(2) 宿泊施設の現状	43
(3) 宿泊客数	45
2-4 全国から見た名古屋の観光に関する評価	55
(1) 調査の概要	55
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等	56
(3) 名古屋に対する評価	67
(4) 観光振興について	78
3. 資料編	81
(1) 主要観光施設への入込動向	81
(2) 名古屋のまちの印象	85

巻末 調査票

- 注1：本文中で用いたテレビ塔、パノラマハウス、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、JR セントラルタワーズパノラマハウス、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。
- 注2：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。
- 注3：2-4全国から見た名古屋の観光に関する評価の調査実施は、平成 20 年度であるが、調査結果を参照するために掲載している。

1. 観光統計について

(1) 全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。

平成 19 年度については、全国観光統計基準に適合する 84 地点の観光入込客数を把握した。

(2) 入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 19 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 5,617 万人であり、平成 18 年度と比較して 300 万人増加（対前年度比率 105.6%）した。

主な増加理由は、平成 19 年度に「名古屋港開港 100 周年」や「東山動植物園開園 70 周年」などの記念事業があり、市民中心に関心が高くなったことである。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

全国観光統計基準に基づく分類		平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度	
大分類	中分類	地点数	入込客延べ人数	地点数	入込客延べ人数	地点数	入込客延べ人数
学ぶ（見る・体験する）	自然						
	文化・歴史	26	19,577,602	25	19,246,422	25	21,075,363
	産業観光	6	1,821,014	7	2,003,055	6	1,917,028
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	17	14,834,016	17	12,955,647	17	12,300,363
	温泉						
	買物						
触れ合う（交流する）	行・祭事	12	7,477,495	14	7,428,814	14	7,880,964
	イベント	24	14,967,916	22	11,538,634	22	12,996,629
計		85	58,678,043	85	53,172,572	84	56,170,347

注：行・祭事、イベントの地点数は、年度によって変動します。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 19 年度の観光入込客実人数は 3,304 万人であり、平成 18 年度と比較して 230 万人増加（対前年度比率 107.5%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
観光入込客延べ人数（人）	58,678,043	53,172,572	56,170,347
平均訪問観光地点数	1.67	1.73	1.70
観光入込客実人数（万人）	3,514 万人	3,074 万人	3,304 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	37.6%	62.4%
観光入込客実人数	3,304 万人	1,242 万人	2,062 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
延べ宿泊客数（人）	7,135,833	6,288,947	6,384,202
宿泊客実人数（人）	4,472,967	4,752,837	4,845,349
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.60	1.32	1.32

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	7.8%	92.2%
宿泊客実人数	485 万人	38 万人	447 万人

⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 19 年度の名古屋市内客は 1,242 万人であり、平成 18 年度と比較して 212 万人増加し、名古屋市外客は 2,062 万人であり、平成 18 年度と比較して 18 万人増加した。

また、平成 19 年度の宿泊客実人数は 485 万人であり、平成 18 年度と比較して 10 万人増加し、平成 19 年度の日帰り客実人数は 2,819 万人であり、平成 18 年度と比較して 220 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 18 年度	平成 19 年度
観光入込客実人数	計	3,074 万人	3,304 万人
	名古屋市内客	1,030 万人	1,242 万人
	名古屋市外客	2,044 万人	2,062 万人
宿泊客実人数	計	475 万人	485 万人
	名古屋市内客	27 万人	38 万人
	名古屋市外客	448 万人	447 万人
日帰り客実人数	計	2,599 万人	2,819 万人
	名古屋市内客	1,003 万人	1,204 万人
	名古屋市外客	1,596 万人	1,615 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を名古屋市内・市外別、宿泊客・日帰り客別に設定し、観光総消費額を推計した。平成 19 年度の名古屋市内の観光総消費額は 2,616 億円であり、平成 18 年度と比較して 789 億円減少している。

入込客の居住地別にみると、名古屋市内、市外とも昨年度と比較してそれぞれ約 400 億円の減少となっている。

宿泊客の総消費額は 1,070 億円と昨年度と比較して 53 億円増加しているが、日帰り客の総消費額は 1,546 億円と昨年度と比較して 842 億円の減少と大幅にダウンしている。

また、観光消費額の内訳をみると、すべての項目とも昨年度と比較して減少している。

表 1-2-1 観光総消費額（推計値）

	名古屋市内客	名古屋市外客	観光客計
宿泊客実人数	38 万人	447 万人	485 万人
日帰り客実人数	1,204 万人	1,615 万人	2,819 万人
宿泊客一人あたり消費額	20,273 円	22,221 円	
日帰り客一人あたり消費額	3,645 円	6,854 円	
宿泊客総消費額	77 億円	993 億円	1,070 億円
日帰り客総消費額	439 億円	1,107 億円	1,546 億円
名古屋市内観光総消費額	516 億円	2,100 億円	2,616 億円

表 1-2-2 宿泊客・日帰り客観光総消費額の推移

	平成 18 年度	平成 19 年度
名古屋市内観光総消費額	3,405 億円	2,616 億円
名古屋市内客総消費額	889 億円	516 億円
名古屋市外客総消費額	2,516 億円	2,100 億円
宿泊客総消費額	1,017 億円	1,070 億円
日帰り客総消費額	2,388 億円	1,546 億円

表 1-2-3 観光消費額の内訳の推移

	平成 18 年度	平成 19 年度
食事費消費額	1,094 億円	854 億円
交通費消費額	453 億円	374 億円
土産費消費額	641 億円	531 億円
宿泊費消費額	578 億円	550 億円
その他消費額	639 億円	307 億円
総消費額	3,405 億円	2,616 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を名古屋市内・市外別、宿泊客・日帰り客別に算出し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

表 1-2-4 観光客一人あたりの平均消費額

	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客 食事費	1,938 円	7,913 円
宿泊客 交通費	1,188 円	2,391 円
宿泊客 土産費	2,000 円	4,806 円
宿泊客 宿泊費	11,364 円	11,339 円
日帰り客 食事費	1,360 円	2,040 円
日帰り客 交通費	465 円	1,276 円
日帰り客 土産費	540 円	1,504 円

表 1-2-5 旅行費用項目別総消費額の推計

	名古屋市内客	名古屋市外客	観光客計
宿泊客 食事費総消費額	7 億円	354 億円	361 億円
宿泊客 交通費総消費額	5 億円	107 億円	112 億円
宿泊客 土産費総消費額	8 億円	215 億円	223 億円
宿泊客 宿泊費総消費額	43 億円	507 億円	550 億円
日帰り客 食事費総消費額	164 億円	329 億円	493 億円
日帰り客 交通費総消費額	56 億円	206 億円	262 億円
日帰り客 土産費総消費額	65 億円	243 億円	308 億円

表 1-2-6 観光消費額の内訳

	名古屋市内客	名古屋市外客	観光客計
食事費消費額	171 億円	683 億円	854 億円
交通費消費額	61 億円	313 億円	374 億円
土産費消費額	73 億円	458 億円	531 億円
宿泊費消費額	43 億円	507 億円	550 億円
その他消費額	168 億円	139 億円	307 億円
総消費額	516 億円	2,100 億円	2,616 億円